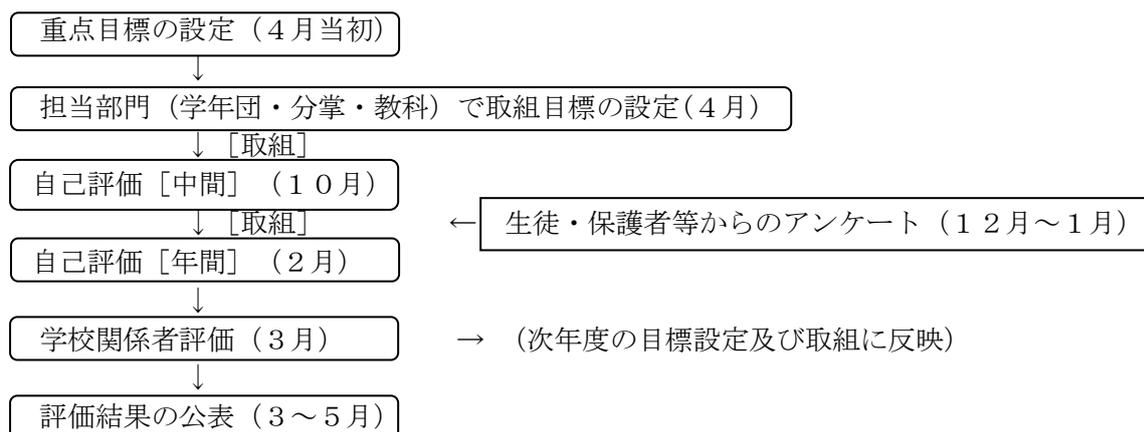


# 「学校評価」について

## 1. 「学校評価」の概要



## 2. 令和5年度「学校評価」の報告

### (1) 重点目標と評価担当部門

評価項目	重点目標	評価担当部門
教育課程 学習指導	個々に応じた学力の定着	各教科 教務部、進路指導部
生徒指導	自主・自立の生活態度の育成と社会性の涵養	各学年団 生徒指導部、特別活動指導部
進路指導	進路指導の充実	各学年団 進路指導部
その他	各分掌の目標	各分掌

令和5年度に行った取り組みの中で特徴的なもの

#### 「津田高校活性化プロジェクト」(7月～3月まで計8回実施)

同窓会の支援を得て、生徒が目標に向かってポジティブに行動し自己を高めていく態度を育み、学業・部活動だけでなく、人格を含めた総合的な「人財」を育成・輩出する学校を目指す試み。人材育成コンサルティングファーム Biz Athlete と提携し、「本質的な資質・能力の向上支援」「学力向上支援」「部活動活性化支援」等の働きかけを行い、津田高校を活性化することを目的とする。



#### 「スマホ相談会」(6月16日と11月16日に実施)

6月16日に、さぬき市や株式会社ソフトバンクの協力のもと、本校で、地域の高齢者を対象とした「スマホ相談会」を開催した。高校生が高齢者のスマートフォンの操作等の悩みに個別に対応した。四国の高校では初の取り組みであった。合計16人の生徒たちが自ら参加を申し出て相談員として活躍した。11月16日には13名の生徒が参加した。



(2) 自己評価の結果

各担当部門で設定した具体的な取組目標の、本校職員による自己評価は次の通り。

評価項目	A	B	C	D
教育課程・学習指導	2 (11.1%)	16 (88.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
生徒指導	0 (0.0%)	14 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
進路指導	2 (22.2%)	7 (77.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	4 (25.0%)	12 (75.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

(A：十分達成できた、B：おおむね達成できた、C：あまり達成できなかった、D：達成できなかった)

(3) 生徒対象アンケートの結果 (A:当てはまる B:概ね当てはまる C:あまり当てはまらない D:当てはまらない)

学校行事、学校生活、授業及び学習等についてアンケート項目を設けて実施した。

下の表はそのうちの幾つかの項目についての比率 (%) を抜粋で示した。

アンケート項目		A	B	C	D
学習	いつも授業を大切にしている	36.4%	52.8%	9.3%	1.4%
	日常の家庭学習はできている	11.7%	31.3%	34.1%	22.9%
生活	制服を正しく着こなしている	56.5%	40.2%	2.3%	0.9%
	学校生活の時間を守っている	68.2%	28.5%	2.3%	0.9%
	部活動、生徒会、学級活動等積極的に参加している	51.9%	30.8%	12.1%	5.1%
	健康的な生活を送るように努めている	20.9%	37.9%	29.6%	11.5%
進路	将来の目標を決め、勉強に取り組んでいる	32.5%	40.9%	21.0%	5.6%
	将来の進路実現のために努力している	32.7%	43.8%	23.5%	0.0%
全般	学校生活は楽しい	33.3%	49.8%	12.4%	4.4%

(4) 保護者からのアンケートの結果

学校の取組み等についてアンケート項目を設けて実施した。

下の表はそのうちのいくつかの項目についての比率 (%) を抜粋で示した。

学校のことについて、家庭で子どもとよく話をしている	41.4%	39.2%	15.8%	3.6%
学校は保護者に学校の状況を適切に知らせている	37.4%	47.9%	11.0%	3.7%
子どもは学校生活に満足している	42.8%	47.7%	7.7%	1.8%
学校は生徒の学力向上に努めている	37.1%	50.7%	10.9%	1.4%
学校はいじめ防止や服装、遅刻など、生活指導上の問題について適切に指導している	39.4%	51.9%	8.8%	0.0%
学校は進学・就職の情報提供を含め、適切な進路指導を行っている	44.5%	48.6%	6.4%	0.5%

(5) 学校関係者評価 (学校評議員会要旨)

- ・アンケートでは「学校が楽しい」と回答した生徒が90%、また「子どもと学校の話をする」と回答した保護者80%と高く、評価できる。
- ・校内で生徒たちがよく挨拶してくれる。
- ・総合的な探究の時間の授業で行っているビジネスプラン作りを通して、生徒たちにとって今後の社会で役立つ課題発見や課題解決の力を培ってほしい。
- ・「津田高校活性化プロジェクト」の取組に期待している。生徒に目標や自己肯定感をもたせて、生徒のやる気を後押ししてほしい。
- ・新設高校の建設予定地周辺の清掃活動や「スマホ相談会」などの地域に根ざしたボランティア活動については、地域の住民から評価の声が届いている。
- ・一昨年や昨年と比べて遅刻者数が増えている。
- ・学校の教育活動をより知ってもらうため、より一層の広報活動が必要である。